

月 日	発言者	内 容	市場への影響
7月29日	メリルリンチ	85億ドル(約9000億円)の追加増資を発表。	
7月28日	スターン ミアホリス連銀総裁	「信用収縮はさらに悪化する可能性がある。」と発言したと英紙が報道。	ややドル安に。
7月28日	複数のメディア	2009年会計年度(2008/10~2009/9)に米財政赤字は過去最高の4800億ドルから4900億ドルに達するとの見通しを発表。	
7月22日	ワコビア	4-6月期決算でサブプライム関連で120億ドル(約1兆2千億円)の損出を計上。	
7月22日	プロッサー フィラデルフィア連銀総裁	「インフレは既に高すぎるし水準にある。」「金融政策の転換はすぐにでもおこなわれるべきであろう。」講演で発言。	ドル・円106円70近辺から107円台へ。
7月22日	米連邦住宅公社監督局 (OFHEO)	5月の住宅価格指数→マイナス0.3%(前月はマイナス0.8%) 3ヶ月連続のマイナスだが下落幅は縮小傾向。	
7月22日	ポールソン財務長官	ファニーメイ、フレディマックの債券、住宅ローン担保証券の発行額は5兆ドルのうち1兆5千億ドル(160兆円)は海外が保有。	
7月18日	JPモルガン	4-6月期決算で20億3千万ドルの最終利益(前年同期比53%マイナス)	ドル円105円代後半から106円代後半へ
7月18日	メリルリンチ	4-6月期決算で46億5400万ドル(約5000億円)の最終赤字。 これで4連続四半期決算の赤字を計上。	
7月16日	バーナンキ FRB議長	ファニーメイ、フレディマックについて「経営破綻の恐れは無い。」下院で証言。	
7月16日	バーナンキ FRB議長	市場介入について「めったに実施されるべきではない。」としながらも「介入は市場が無秩序混乱した場合に正当化される。」と介入の可能性を否定しなかった。	ドル円103円後半から104円台へ
7月16日	バーナンキ FRB議長	最近の物価上昇について「高すぎる」と証言し、「物価の安定を維持することが我々にとって極めて重要だ。」と発言。	ドル円103円後半から104円台へ
7月15日	バーナンキ FRB議長	米経済の現状について、金融市場、雇用、住宅などで「重大な試練に直面している。」との認識を示す。(上院での議会証言で)	
7月15日	ブッシュ大統領	「米国の金融システムは基本的に堅固だ。」「米経済は厳しい情勢にあるが、なお成長を続けている。」記者会見で。	
7月11日	バーナンキ FRB議長	バーナンキ議長が公社幹部に、公定歩合での窓口貸し出しが可能と伝えた、と、ローター通信が報道。	
7月11日	ポールソン財務長官	ファニーメイ、フレディマックについて「現行の形態で支援する。」と発言し、国有化を否定。	
月 日	発言者	内 容	市場への影響
7月9日	トリシェ ECB総裁	インフレ加速を防ぐために「強い決意がある。」欧州議会で発言。	
7月7日	ウォールストリート ジャーナル紙	4-6月期決算で60億ドル(6400億円)の損出を計上し、穴埋めに保有するブルームバーグブラックロック株の売却を検討、と報じる。	
7月6日	ブッシュ大統領	「米国は強いドル政策を信じている。米経済の強さはドルに反映されるべきだ。」洞爺湖サミットを前に、日米首脳会談で。	
7月3日	ポールソン財務長官	「住宅が最も重大な下振れリスクであり続ける。」と強調。また、住宅市場は「明らかに年末を超え、数年ではなく、数ヶ月でおおむねメドがつく。」と発言。	

7月2日	ポールソン財務長官	米経済は「エネルギー価格、資本市場、住宅市場と、三つの逆風が直面している。」	
7月2日	ブッシュ大統領	「米国は常に強いドル政策を支持してきた。」洞爺湖サミットを前に記者団と。	